

### 課題

#### 困難な部活動維持

- ・少子化等による部員の減少により  
単独校での部活動継続が困難

#### 移動・運搬の課題

- ・複数校による合同部活動  
生徒の移動、楽器の運搬、会場の準備が大きな負担

#### 指導の課題

- ・顧問が吹奏楽等の専門家ではない場合、顧問への負担が  
大きい

#### 教職員の負担

- ・外部の専門家が学校内に入るためには  
顧問の立ち合いが不可欠

### 解決策

## ★デジタル部活動の活用★

\* 指導者と学校をオンライン接続

地理的・人的な制約のない、新しい部活動形態

\* 各学校に配備されたタブレット、端末や大型ディスプレ  
イ等を活用して対応可能

\* リアルタイム双方向指導により、生徒のモチベーション  
向上に繋がる

### 課題への対策

#### 移動・運搬の課題解消

- 複数校をオンラインでつなぐことで、生徒の移動や楽器の運搬をせずに、各学校にいながら合同部活動が可能となる

#### 指導者の確保

- 人材豊富な都市部で指導者を確保し、専門知識を持った指導者がオンラインで指導できる環境を構築

#### 顧問（教職員）の負担軽減

- 専門家による基礎からのパート練習、合奏指導により、練習効果が高まるとともに顧問の負担軽減にもつながる
- 外部指導者が来校しないため、顧問教師立ち合いの負荷も減る

#### 受益者負担の軽減・謝金や運営費の低減

- 複数校をまとめて一度に多くの生徒を指導することが可能となり、受益者負担の軽減と運営費の低減にもつながる

### 実証事業の手応え

#### 生徒の声

- 画面越しでも指導がスムーズで、パートごと専門の先生からの指導が受けられ理解が深まった
- また、他校の様子も知ることができ刺激になった

#### 教育委員会の評価

- 地方での指導者不足を根本的に解決でき、多くの課題解決にもつながる効果的方法だと思う

### 今後の展開

2026年を目標に実証事業のノウハウを集約し  
どの自治体でもスムーズに導入可能な  
**「標準パッケージ」**の検討を進める